

脳腫瘍医療照射

脳腫瘍医療照射 のうしゅよういりょうしょうしゃ

脳腫瘍（脳蓋内腫瘍）に放射線を照射して治療すること。原発性腫瘍、転移性腫瘍いずれかにも有効な治療法である。放射線単独治療は、原発性腫瘍で手術的に危険をとまなう部位や、手術の不可能な部位に有効な治療法である。ほかに予防照射や手術後照射もある。治療が頭蓋腔に限られるので全身的影響は少ない。腫瘍内R I（A u-198，Y-90）刺入法では、頭蓋咽頭腫瘍への組織内照射がある。開創照射では、電子線、中性子、重粒子線、密封線源による照射などがある。「中性子捕獲療法」と「重粒子線によるがんの治療」の

<登録年月>

1998年01月
